

もっと知ろう!!

—桑田三舟、かなの美を求めて—

1945年、生まれ育った神戸市から父の故郷の福山市へ疎開。

以後、約40年間を福山で暮らしました。

桑田三舟は、1927年にかな書家・桑田三舟の三男として生まれました。

桑田三舟 (1900-1989)
戦後のかな書道界を牽引

当時の福山は、多くの書家や芸術家が入りする文化のメッカ。

歌人 清水比庵
詩人 木下夕雨
作詞家 葛原しげる
書家 村上三島 栗原蘆水
洋画家 小林和作

様々な出会いによって、三舟の書は磨かれました。

同年、父・三舟に師事し、本格的に書の道に入ります。

また、料紙の研究にも熱心で、創意工夫を重ねました。

伝統

版木

革新

アクリル絵の具

三舟は平安王朝の優美なかなを研究、線と空間の美しさを研究しました。

前半は 縦長の線で ゆったり

後半は 字間を狭くして 密度を濃く

2010年、三舟は83歳で亡くなりました。

本展は三舟の初の回顧展となります。

2002年には日本芸術院賞を受賞し、かなの巨匠の地位を確立しました。

1998年 NHK教育番組に講師出演

参考文献：西嶋慎一《桑田三舟のかな芸術—生活に即したかなを求めて—》「桑田三舟展—躍動する線と空間の美—」図録
菅原教夫《書家群像 平成の名筆》ビジョン企画出版社
《NHK 趣味悠々 いろはに学ぶ 書の心 かなの美》NHK 出版